



友愛の森(二中だより)

学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和5年6月30日発行



成功の第一歩は準備・計画

～ 6月全校朝礼より ～

校長 望月 俊伸

先日、5・6組の皆さんが作っている畑で、初めて収穫できた「ピーマン第1号」を頂戴しました。日頃の感謝の気持ちを込めてと、特別に頂いたものです。特別支援学級では、今年度から「作業学習」の一環として、野菜づくり（農耕）や花壇づくり（園芸）に取り組んでいます。畑仕事をしたことがある人は分かると思いますが、作業には相当な準備と手間がかかります。その苦勞がなければ、収穫の喜びを味わうことはできません。5・6組の生徒・教員・支援員の皆さんが、何もないところを耕して、畝を作って、苗を植えて、草取りや水やりをやって、、、その苦勞を知っているだけに、1つのピーマンが、とても貴重で、宝物をいただいた気分になりました。感謝の気持ちで頂かせてもらいました。格別においしかったです。ありがとうございました。

話は変わりますが、1年生の階段を上がったところにホワイトボードが置かれているのを知っていますか？そこには1年学年主任の篠原南月先生からのメッセージが書かれています。定期テスト前のボードには、初めてテストを迎える1年生の皆さんに向けて、次のような言葉が書かれていました。

「中学校初のテストは、すでに始まっています！！成功の第一歩は、準備・計画」

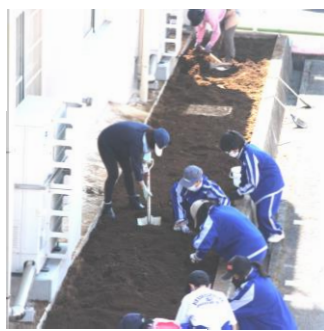
また、ホワイトボードのその横には、学習計画表の良い例が飾られていて、「範囲の内容をくり返してやる計画にしているところがすばらしいです」「一つ一つの教科の時間は短めに、毎日こつこつという計画例です」等と、それぞれのどこが良いのか、価値付けの言葉が書かれていました。

この2つの出来事から、私は、以前見たNHKの番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』に登場した小児科外科医 山高篤行（やまたかあつゆき）先生の話の思い出しました。山高先生が専門とするのは、生まれつき臓器に異常を抱える赤ちゃんや、難病を抱える子どもたちの手術。新生児の臓器は大人の10分の1ほどしかなく、さらに、体温や心拍も変化しやすく、手術に耐える体力は大人よりも少ない。手術は困難を極め、わずかなミスでも命が危険にさらされます。先生はその現場に30年以上向き合い続け、他の病院で治療ができないと言われた子どもなど、これまで1万人以上の命を救ってきました。山高先生は難しい手術を控えると、必ず一人部屋に籠もります。そこで行うのは、イメージトレーニング。どこからメスを入れ、どの順番で処置を進め、その場合にどんなことが起こりうるのかを、紙に書き出します。すべてのリスクを洗い出すまで、手術の準備を止めることはありません。「手術をキメられるか、キメられないかっていう一番大きな要因は、手術の前の準備。9割が手術前で決まっています、手術は変な話、手術する前に終わっているってこと。」

また、山高先生が準備にこだわるもう一つの理由が、幼少期からの「気が小さい」性格。「気が小さいってというか、おびえているってというか。だから大きい手術、難しい手術があると怖いんです。だけど怖いから、一生懸命勉強する。すると、最初は治せるのかっていう不安が、段々とできるっていう自信に変わってくるんです。」

今日お話した3つの話ですが、状況は違っても、いずれも準備することの大切さを伝えています。今回の定期テストで十分な準備で臨むことができなかった皆さん、これから中体連で大事な試合を控えている皆さん。準備をすることで、自分に自信をもつことができます。また、緊張する場面でも心に余裕をもって立ち向かうことができます。事前の準備や練習を念入りに行い、これだけやったのだから大丈夫という心境になれるといいですね。人事を尽くして天命を待つ。幸運を祈ります。

福ろう・働き隊 “花と緑の二中づくり” 今年度スタート！！



特別支援学級の皆さんと美術部のBチーム（外部活動）の皆さんが、作業学習の時間と、放課後の部活動の時間で、2棟校舎前に素敵な花壇を創ってくれています。学校にお越しの際には、是非ご覧になってください。とっても素敵な花壇です。

地域に学び、地域に愛される（グラントデザインにも示されています）



第1回読み聞かせ（6月1日）
毎学期1度、「ひばりの会」の皆様
に読み聞かせを行っていただいでい
ます。朝の15分間という短い時間
ですが、毎回とても充実した時間とな
っています。



湧玉池・神田川一斉清掃（6月4日）
27人の生徒が活動に参加しました。
地域の方と一緒に神田川と湧玉池を
綺麗にしました。歴史ある活動に参
加できてたいへん誇らしいです。地
域の方にも喜んでいただけました。



地区生徒会（6月5日）
12地区の区長様と1地区の町内会長
様が、それぞれ地区の生徒に、地区
の行事や防災についてお話をしてく
ださいました。会を行う度に、地域
に守られていることを実感します。



防災教育推進のための連絡協議会
（6月13日）避難所開設の際に考え
なければならないこと、生徒の皆さ
んの防災教育を推進していくために
はどうしていったら良いのかなどを
ご協議いただきました。専門知識が
豊富で、たいへん心強い存在です。



交通安全教室（6月16日）
学区にある富士宮警察署の交通指導
員の方から命を守る大切なお話をし
ていただきました。動画や事例、デ
ータを交えたお話は分かりやすく、
たいへんためになりました。自分の
命は自分で守る意識を高めました。



学校評議員会（6月20日）
学校評議員の皆さんが、全学年の授業
参観をして、その後、富士宮第二中学
校の心強い応援団として、より良い学
校を目指して、いろいろなことについ
てご協議いただきました。皆さんのが
んばっている姿をお見せできました。